

本
店具家んほ丸
電話 二八五三
場部業營
工部業營

磐城経済新報

発行日 五日、十五日、二十五日
印刷所 大井川幸隆
福島市石城郡平町十三番地
発行所 磐城経済新報社
廣告料 五號十二字 一行廿錢
場所指定十錢増
新開定價 一部十錢 月二十錢
一ヶ月三十四錢 四ヶ月

共済病院と患者を喰ふ

賀澤忠治罪惡物語

(未完)

磐城共済病院を根拠として山師を働かし、羊頭狗肉の香具師的方法に據つて患者より膏血を絞りつゝある三文眼科 賀澤忠治の罪業は、本紙の屢々詳報し摘出暴露せる如く、或ひは八重貸付による利子の頭はね、或ひは借入金に干して自己支辨を爲したる如き書類の欺造、又は阿房愚息の學費徴達、さてはお婆さんの居住費、殊なる出張費の詐取等、列擧に遑なき不正行爲百出の状態だ。彼奴は尙これに飽き足らず、過去に於て如何なる泥的罪業を犯したるか一例次の如きものがある。

川添博士は囑託醫だ

宣傳して前科者になつた賀澤

昭和四年十一月、慶大教罪惡の一事に過ぎないもの授醫學博士川添正道氏をして、この一事を以てするも共済病院の囑託醫とせる彼奴が如何にこの種の詐欺無論事實無根の嘘ッパであつたか、既に賀澤は幾犯の事暴露し詐欺罪の罰金刑に處せられた賀澤である。素より之はアバキ出されたものなのだ。

印鑑を盗用して

保険金を詐取せる賀澤

これは亦た大正十四五年頃と記憶するが、當時賀澤の子息義雄は病身者であつた、然るに泥的性根をもつて生れた賀澤は、圖々生命保険へ加入資格なき子息義雄をして加入せしむる爲に、南町の開業醫鈴木壽一氏が巢鴨精神病院に入院せるを奇貨措く能はずとなし鈴木醫師の印鑑を無斷盗

三十四町村の囑託

賀澤をしめつける!!!

本紙が去月十五日、全紙價を廉くし共存共榮の爲三面に亘つて賀澤糾弾記事「三十四町村囑託云々」の欺瞞を掲げ、腰に疵持つ賀澤の文字の羅列によつて聲明を拒絶した。特殊の事情が三萬圓に於て工事の完成を問題としても、磐炭より損益の限り何處の町村役場に於ても該名簿の觀覽を許可するものであるが、伏見は「拒絶」すべき何等の法律

も、誰か共済病院のヤンに信を置くものか! 三十四ヶ町村長より調印を得て囑託病院となりたる如き賀澤の宣傳にも不拘各町村長より内閣するに承認した覚えがないといふ聲が相當あるのだ、調印簿を見れば、中には押印なきが有るが、縣知事の臨席せる町村長會に印鑑を持参せざるも考へられない。

再生途げんごする磐炭

尚前途多端だが

今日まで数々なし來つた賀澤の罪業より鑑識するに果して正式なる調印を了し郡下全町村の囑託となりたるか否かは甚だあやしいのだ。要するに賀澤が進んで共済會長を辭し同病院の眞面目な再生を計る事なしに同病院は斷じて大衆より迎へられる事はあり得ないのみ、益々施療患者を減じ遂に自滅の悲運に達するは與へたものゝ如くであつた時代錯誤である、けれども此處に磐炭はその對策と磐炭の對湯本町への態度はして元員整理の美名に於て「送湯を絶つ」といふので、實は従業員約四〇〇名の餓はなして、目下磐炭は無首斷行、老高級社員は淘汰配状態にあるのだから經常等に於て伴人費の節約を計費を節約する爲に湯水引上等を益々經營の合理化を促進の動力費を半々に負担したるにせしめつゝある。更に今回綴坑の出水を閉塞する爲のセント密閉工が湯本町に對し、右の提案右の工事は最低に見積つてゐるが、未だ解快を見ないで湯本町が法律を以て之を湯本町に對し、右の提案右の工事は最低に見積つてゐるが、未だ解快を見ないで湯本町が法律を以て之を湯本町に對し、右の提案

要するに磐炭が今や再生途げんごするに當つて前途幾多の困難がある。この困難を打破して面目實質共に新磐炭たらしむる爲には、菅原所長の才腕に俟つの外はない。所長の努力と成功を望みたい。

小田吉次

ボツ、次號から

鑛山王百萬長者としてジャーナリズムに謳はれ、新聞者におもねられて「超然」たる小田吉次が。殺人補助や、大袈裟なる窃盗の累犯者であつたとしたらどうする。

いくら戦時好況當時、蓄財をなしたからと云へ七、十萬(百萬とも謂はれてゐるが)余の巨財を僅かに十三年間に築き上げたとは云ふものゝ心ある計數家が之を承認しない許りか、彼が如何なる行爲を過去に於てなしたかは、一部の消息通が知悉してゐる。筆者は嘗て彼に初對面の際、彼の高壓的な横平な高慢甚だしき態度に接し、不快此上なき印象を與へられた。來號あたりから彼の罪惡を些か公開し抑々小田吉次とは如何なる男か?

投稿歓迎

磐城経済新報 冠り括つた彼の面皮を剥いだらどんな正体が誕生するものか蓋し鎮夏の恰好な話だ。

人井川幸隆

旬の新聞が發刊され各紙共に血みどろの活動によつて何ぞか糊口を凌いでゐるのだから驚く、而し旬刊の經營が非常に困難化された事は、彼等の生活様想を見たゞでて判然と想像され、心ある者をしてそゞろ憐情を催さしめずにはおかまい。吾が經濟紙は紛れもなくその一つだ。

新聞紙法の不尾を幸ひ出版法によつて事實上新聞の性質を帯びた宇佐美友次郎のオモチャ新聞／タマワキ『共濟濟報を救へ！不良醫を懲らせ！經濟新報の毒筆に迷ふな！宇佐美の藥を買へ！』といふ意味の記事が出た。てんで文章も文法もありやしない。最近この

斯な情勢に當面して一つの小ッぽけな新聞が大衆に迎へらるゝ爲には、一つの條件が具備されねばならぬ。所謂條件とは、「特種の色彩」だ。本紙は此点に心を配り、經濟紙を特色づける爲に飽く迄、正義を前提としての懲惡讚善の旗幟を懸して邁進することにした。惡事膺懲が過激に走りブルジョア法律によつて筆

宇佐美、實費病院計劃の由と承はる、誠に結構、だが經營者が宇佐美では賀澤も裸で逃げる程のペテ、ヤマカン、インチキ、眉ツバだからなア御免蒙りやせう

俺は暫らく不在にしてゐたので暑中廣告を頂戴出來ないでしまつた。本號に掲載しておいたから有志各位の事後承諾を求めたい。

高橋龜松

(順不同)

山鷺	古戶	加江	小關	金渡	柴立	本新	高鈴	山古	小安
崎	市	部藤	口林	內成	邊田	花馬	妻本	崎	島
吉	喜	光丈	忠清	正金	長正	秀	辰	傳	重
平昇	郎	衛夫	一吉	一三	作則	吉武	盛保	郎	三

貸借對照表

拂込未済 七五〇,〇〇〇 資本金 二,二四〇,〇五〇 預貯金 七,四〇五,〇〇〇 郵便貯金 五八,〇〇〇 假替貯金 五八,〇〇〇 事務什器 九,七六六,六五〇 工場什器 四,一四一,四九五 工場備品 二,〇〇九,〇〇〇 諸機械 二,二四九,九五〇 工場敷地 九,九五〇,〇九〇 工場敷地 四,四六六,一八〇 工場敷地 二四,二七二,四〇〇 工場敷地 三,〇六六,九七〇 工場敷地 三,〇六六,五五〇 工場敷地 二,四八八,一四〇 工場敷地 三,五五〇,〇〇〇 工場敷地 一六,七五五,八五〇 工場敷地 六,四〇〇,三〇〇 工場敷地 六,五五〇,九五〇 工場敷地 二,四三〇,二二五	負債之部 資本金 一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇 借入金 七,四〇〇,〇六七 買入金 五,三三〇,三三〇 買入金 四,八三三,三〇〇 買入金 八,八六六,六〇〇 買入金 四,〇〇〇,〇〇〇 買入金 四,〇〇〇,〇〇〇 買入金 三,五三三,三三〇 買入金 一九,二〇五,四〇〇 買入金 三,〇四五,四四五 買入金 一,〇八八,五五五 買入金 二,〇〇八,六五五 買入金 三,〇三三,七五五 買入金 六,四七六,九五五 買入金 計一,四三三,〇〇〇,二二五	右之通り二候也 昭和六年五月卅一日 監查役 田倉 孝雄 同 永山 徳一	右之通り二候也 昭和六年六月三十日 植田水力電 氣株式會社
---	---	--	--

白鳥鑛泉
旅館
春木屋

織
內
祐
助

大平陸四郎

熊謙次郎

藤井正芳

伊藤淺之助

河野嘉藏

久保田眞

和田禎宗

鯨岡潔

三井富吉

山崎佐市郎